

好評につき第2弾 続編を上映

東近江市人権ふれあい市民のつどい 映画上映会

認知症への理解を深める
「展示ブース」あります

アルツハイマー病を患った母を
98歳になった父が懸命に介護する日々。
そんな中、新型コロナの波が押し寄せて
事態は急変する。

入場無料

(要入場整理券)

詳細は裏面を御覧ください。

監督・撮影・語り
& ひとり娘
信友直子

ぼけますから、
よろしくお願ひします。
～おかえりお母さん～

日時 令和5年7月22日(土)

開演 10時～ 開場 9時30分～

会場 あかね文化ホール・蒲生コミュニティセンター

主催 東近江市人権ふれあい市民のつどい実行委員会

共催 東近江市教育委員会

東近江市家族介護支援事業実行委員会・東近江市地域包括支援センター

人が生きて老いてゆく先には、
必ず死と別れがあります。
でも人生の最終章は悲しいだけではありません。
お互いを思いやり、かわす笑顔もありました。
今回もまた、誰もが自分のこととして
感じてもらえる物語になったと思います。

信友直子 (監督・撮影・ひとり娘)

ロコミが広がり異例のロングランになった
『ぼけますから、よろしくお願いします。』(18)

あれから4年。90代夫婦の愛の形を描いた感動の物語がふたたび始まる。

本作では前作をひも解きながらその後の夫婦の物語を描く。老老介護、認知症、看取り。日本全体が抱える高齢化社会のリアルな問題をありのままに、かつ、時にユーモラスに綴っていく。認知症とともに生きることの大変さや家族の苦勞に共感する一方で、こんな風に生きられたらと憧れを抱かせてくれるような夫婦の姿があった。

広島県呉市。信友直子監督が描くのは年老いた自らの父と母。アルツハイマー型認知症を発症した母の症状が進むにつれ、父は95歳にして人生で初めて家事を覚え、妻を支えている。現実を丹念に見つめた前作『ぼけますから、よろしくお願いします。』は、令和元年度文化庁映画賞・文化記録映画大賞、キネマ旬報ベスト10文化映画3位、ぴあ映画の初日満足度では1位になるなど高い評価を得た。



◎入場には**入場整理券**が必要です！

【対象者】 東近江市在住・在学・在勤の人

【定員】 650人/自由席

【整理券配布期間】 令和5年6月15日(木)午前10時～ ※お一人様2枚まで
(定員になり次第締め切ります。)

【整理券配布場所】 東近江市教育委員会生涯学習課(東庁舎)
東近江市役所長寿福祉課(本庁舎)
東近江市役所人権・男女共同参画課(新館)
あかね文化ホール、蒲生コミュニティセンター
永源寺コミュニティセンター、五個荘コミュニティセンター
愛東コミュニティセンター、湖東コミュニティセンター

※当日午前8時の時点で、東近江市に「暴風警報」「特別警戒」が出ている場合、開催を中止します。

お問合せ先

東近江市人権ふれあい市民のつどい実行委員会事務局

東近江市八日市緑町10番5号 (東近江市教育委員会生涯学習課内)

IP 050-5801-5672 電話 0748-24-5672 FAX 0748-24-1375